

兼

1.「第2回臨時役員会開催趣旨

- ・本年度第1回目の定例会開催後、定例会議の運営方法等に改善点が話し合わせ、改善提案についてこの度の臨時役員会で協議し方向性を決定したい。
- ・役員構成並びにチーム構成等、07/01の次回の定例会で提案する内容を確定したい。
- ・08/02に予定される「松葉地区防災対策協議会全体会議」(以下「全体会議」と省略)のメインテーマの絞り込みを行いたい。以上を臨時役員会の議題としてとして協議・調整した。

2.役員構成・業務分担等の報告

- ・現在「広報委員長」の立石氏の「副部会長」への昇格について、満場一致の推薦の要請の結果、立石氏からの快諾を頂いた。(この移動について定例会に諮り了承を得たい。)
- ・各チームと担当副会長と人員配置

1) 広報チーム: 穴山副部会長他2名 PC、スマホ操作能力が必要

2) 在宅チーム: 高橋副部会長、中川副部会長他に約10名として、第1回定例会で配布したチーム構成に倣い、一戸建てチームと集合住宅チームに大きく分割し、対策等検討会議を実施して、今後のガイドの改訂版の策定に部員も寄与して頂きたい。

3) 避難所マニュアル策定チーム: 中村副部会長、立石副部会長、堀江副部会長、芳野さんの他、女性目線の内容にも対応できるように、女性部員の就任(最低1名追加)希望
このチームは既に役割分担等が出来ているので、これを壊さないように考えたい

4) 企画・調整・対外折衝: 堀江副部会長の兼任

現況通り役所との調整や、学校との交渉等、当防災専門部会の窓口として相手方も認識されているため、余人に替え難くこの度の当該お役目も、お願いさせて頂きたいと思えます。
サポート役は役員全員がおこなうこと

5) 事務局 辻本副部会長(定例会議等の書記を兼任)

会議室の確保やふる協本部との調整・欠席部員への注釈付き議事提案書の、協議会町会ポストへの投函作業等、縁の下の見えない部分で、サポートして頂いている作業の継続をお願いするとともに、本年度定例会議等の総合司会の兼任をお願いする。

部会長と辻本副部会長を除いた役員が持ち回りで書記を務めることした。

以上の役員の役割分担を報告し、各チームの部員の就任位置をチームリーダー(下線表示の副部会長)から提案して頂きたい。

3. 定例会議の運営について

定例会議の議案の事前提案として、部会長が最低定例会一週間前に「議題のみ」メール等で配信する。(メール等連絡方法等がない方は紙で提示する)

・定例会議の時間配分を下記のように提案する。

- 1) 防災活動等について各町会で問題となっている事柄について提示してもらう(15分程度)
- 2) 部会長の協議内容の説明(10分)事前に議事提案書を配布しているので、議題の背景等の詳細説明
- 3) 各チーム(広報T、在宅T、避難所T)を代表してチームリーダーが活動報告(@5分)
- 4) 以降の時間は各チームの活動時間とする。

5.定例会議の付随事項

・月例会議当日の役員は9:00に近隣センター会議室(既予約室)に集合し、会場セッティングを行う。9:15からふる協事務所に場所を移して、役員間の事前準備会合を行い、9:50までに近隣センター会議室に入室することとした。

・部員全員が最低一回は発言できるような環境にしたい。

・

6.全体会議のシナリオづくりとメインテーマの絞り込み

・シナリオについては前回開催の際のシナリオに基づき策定する

・今回のメインテーマとしては

■松葉中学校の体育館耐震改修工事中の避難所機能の適正化の対応

(公示期間:)

体育館他の施設の開放と、他の3避難所へ避難者を割り振る対応が必要となる。

その場合の行政サイドや学校としての対応を確認したい。

調整事項:武道場の避難用途やレイアウト変更

■避難所開設時に何故、開設地区のふる協には連絡が入らないのか、行政の避難所開設情報展開フローには、どうしてふる協は入っていないのか(実例:06/02の大雨の際の対応から)

■「近隣センター所長が災害対策本部の長となって指揮」云々の話を伺って久しいが、実は地域住民のための災害対策本部ではなく、市の行政上の「松葉地区災害対策本部」であることが最近判明した。

防災専門部会としては、ある種災害対策本部長の指揮下に入って活動することをイメージして積み上げて来た事柄が、2階に上げられて階段を外されてしまった感が大きい。

(数度の防災安全課からの際のレクチャーされる事柄に、このことは一切説明はなかった。ただ、この辺りの質問に対しての歯切れの悪さは印象に残っている)

当然ながら方向修正は当然必要とされるが、そのことより上記(隠された実態)のダメージの方が遥かに大きい。

そこで、全体会議では次の事柄を提議して、その対応を行政でどの様に対応して貰えるのかに、フォーカスして行政に望むことを提示・提案して方向修正することとしたい。

- ・給水車や支援物資の到着を誰が知らせに来て、誰がその情報を受け取るのか
- ・避難所毎の支援物資等の必要数量は誰が何処へ要請するのか
- ・今までこれ等の情報は避難所から、地区災害対策本部が一元的に扱い、相互連絡が可能なものと思ってきたが、この機能の代替え方法は、どの様に考えているか確認したい。

- ・先般のアンケートではふる協に、本来的な意味(地域住民のための)の「災害対策本部」を設置するニュアンスの設問が数多く成されていたが、この趣旨の説明は行われていたのか確認したい。
 - ・避難所としての施設管理者の所管は、教育委員会となるものと思われるが、この時の避難者の利用制限等のルールを確認したい。
 - ・災害等緊急時に地区災害対策本部に参集する、災害時応援職員(15名)の顔も分からない状況の中で、今までよりも数段勝るコミュニケーションが予想されるため、教育委員会の方々も含めて、緊密な連携体制構築準備が必要と判断されるため、一堂に会しての打ち合わせを要望したい。
- 等々 この辺りの確認事項を抽出して全体会議に臨みたい。

7.事務連絡等

- ・当年度の部会予算は15.0万円として計上されていて、この中には「手順書」等の印刷費も含まれる。但し、緊急発生的な購入備品が必要な場合は、調整可能との判断
- ・「手順書」については、150部印刷していて残刷が100部程度あるがこれを各町会に3部ずつ配布(既に町会等代表者には1部進呈している)することとした。
- ・名簿は前回指摘を更新して配布致しますが、ふる協グループメール使用のアドレスを別紙に記載下さい。今後3の「定例会議の議案の事前提案」をお送りするように致します。

以上
(以下余白)